

2020年12月期 第3四半期累計 決算説明資料

2020.11.11

株式会社ノーリツ

本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

■ 2020年第3四半期決算 概要

■ 国内事業の業績

■ 海外事業の業績

■ 2020年12月期 通期業績予想

■ 株主還元 他

2020年 第3四半期累計決算概要

■国内事業：減収増益で営業利益拡大

- ・ コロナ禍ながらも、事業活動への影響を最小限に止め減収増益を確保
- ・ 構造改革は計画どおり進捗し、売価改善、コストダウン、経費削減に努め営業利益が拡大
- ・ 希望退職他で約90億円を特損計上したが、固定費削減効果は継続

■海外事業：減収減益ながらも3Q黒字化

- ・ 1Qの大幅赤字から2Qは減収増益で改善し、3Qは全エリアで黒字化
- ・ 中国エリアは構造改革による固定費削減、ネット販売向け普及価格帯給湯器の販売好調で2Qから急回復
- ・ 北米エリアはタンクレス給湯器が好調
- ・ 豪州エリアは新商品投入と工場原価改善により業績好調

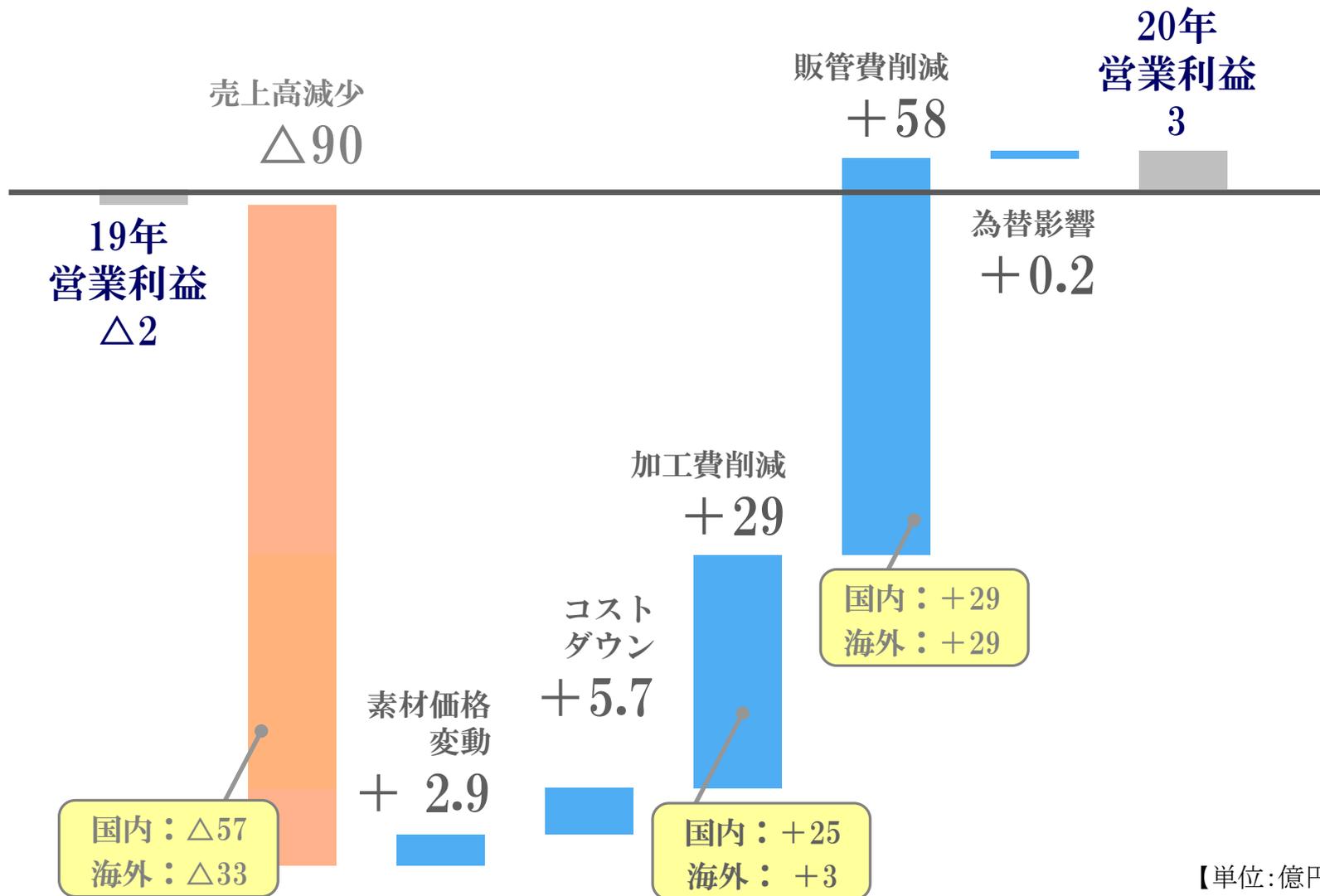
業績予想は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を合理的に見積ることが困難なため据え置いています

2020年第3四半期累計 経営成績

(単位：億円)	2018年第3四半期 累計実績	2019年第3四半期 累計実績	2020年第3四半期 累計実績	前年増減
売上高	1,478	1,468	1,270	△197
国内事業	1,047 (45)	1,044 (47)	924 (48)	△119
海外事業	430 (23)	423 (20)	346 (23)	△77
営業利益	12	△2	3	6
国内事業	△2	0	8	8
海外事業	15	△3	△5	△1
経常利益	23	1	12	11
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5	△7	△60	△53

平均為替レート、1ドル=107.23円、1元=15.30円、1ASドル=72.77円 ※数値は外部取引額、()内は内部取引額

2020年第3四半期累計 営業利益増減要因



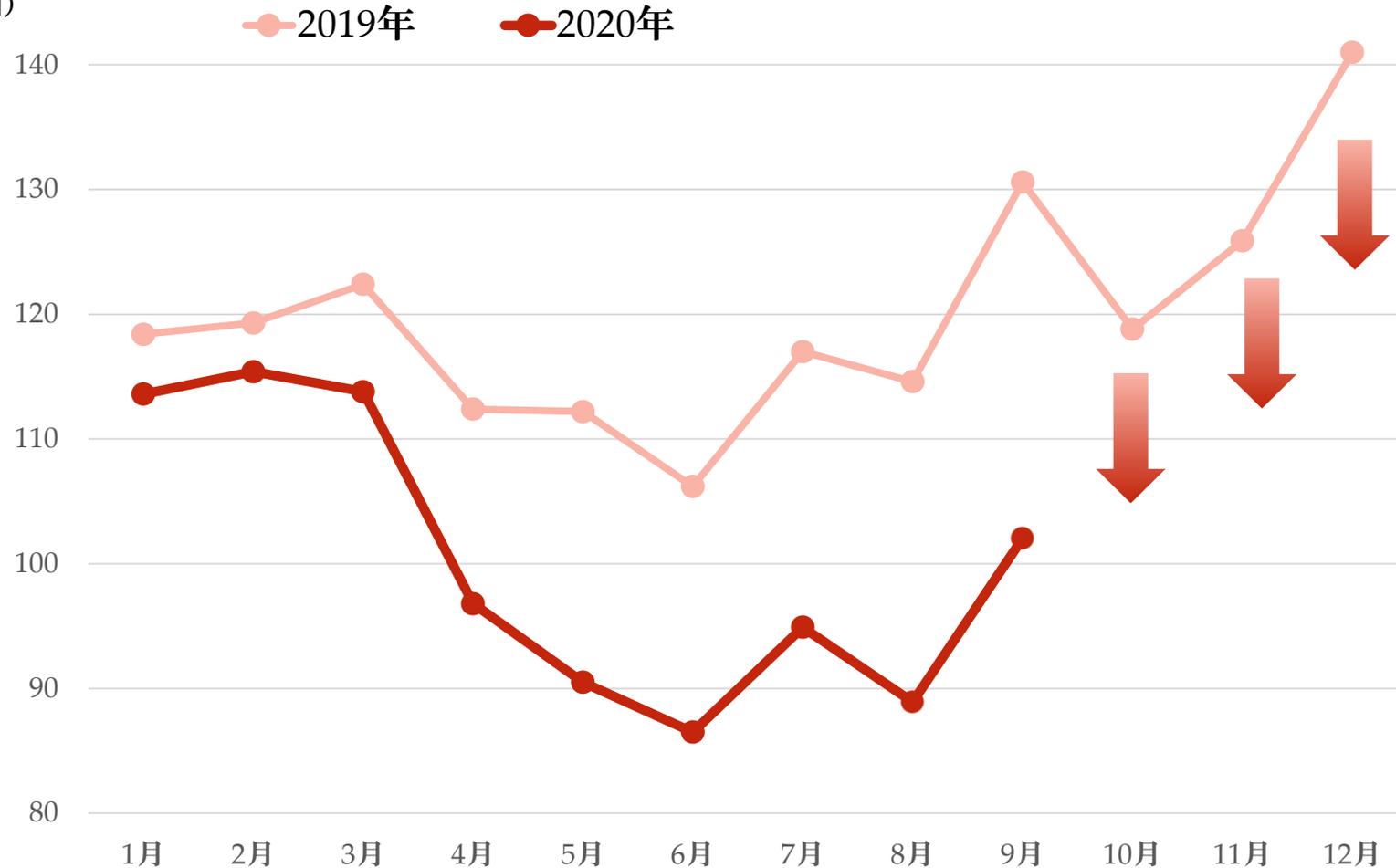
【単位:億円】

2020年第3四半期累計 国内事業 構造改革進捗



◇ 月別の損益分岐点売上高 (BEP) の推移

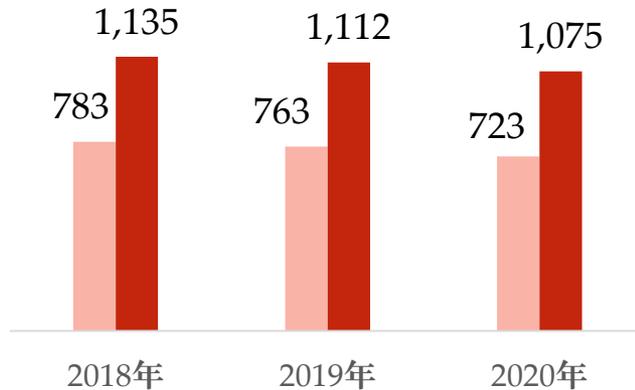
(億円)



2020年第3四半期累計 国内事業 分野別業績

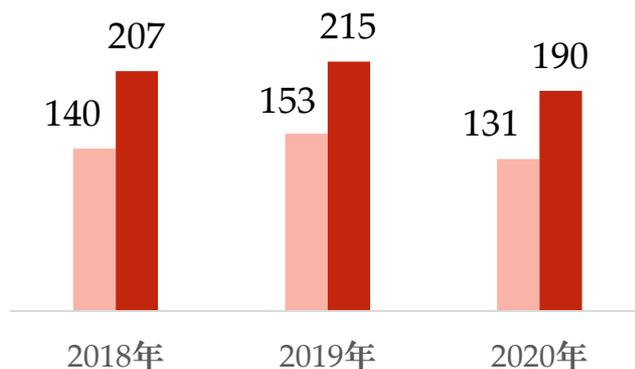


◇ 温水空調分野 (億円)



- 温水機器需要は前年比4.8%減の中、売価改善に注力
- 温水機器は衛生意識の高まりを受け「きれい」機能付きの高付加価値品（GT-C62プレミアム）を拡販
- 厨房は、コロナ禍により屋内での設置工事に対する警戒感からガスビルトインコンロ需要は前年比6.9%減。9月、中級品の新製品発売で回復めざす

◇ 厨房分野 (億円)



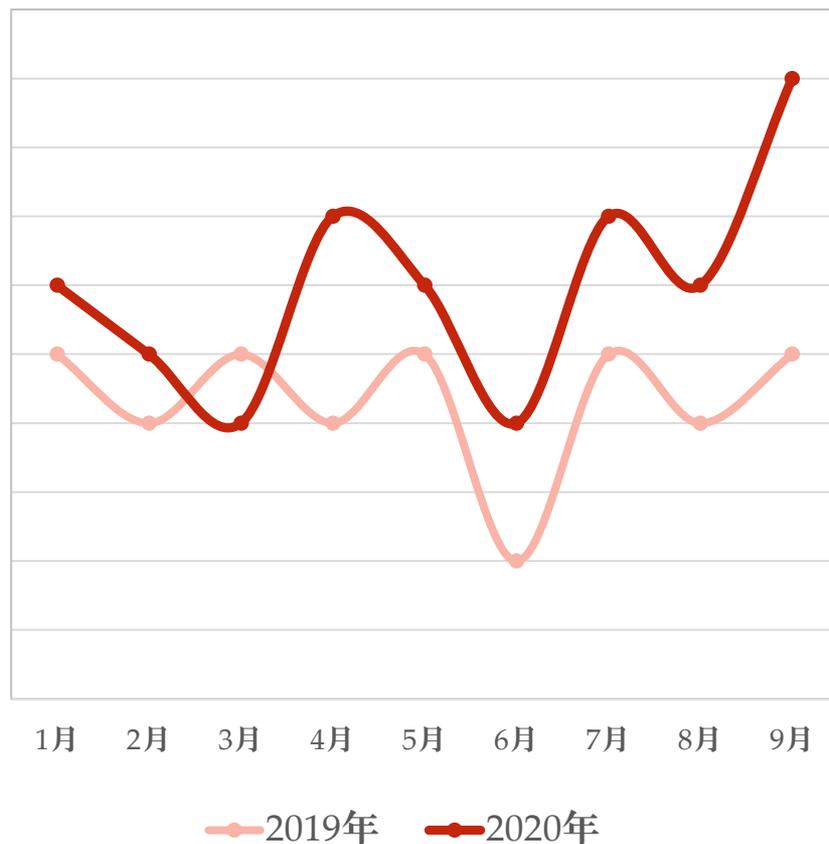
■ 第3四半期累計
■ 12月期通期 (2020年12月期は予想値)

業績予想は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を合理的に見積ることが困難なため据え置いています

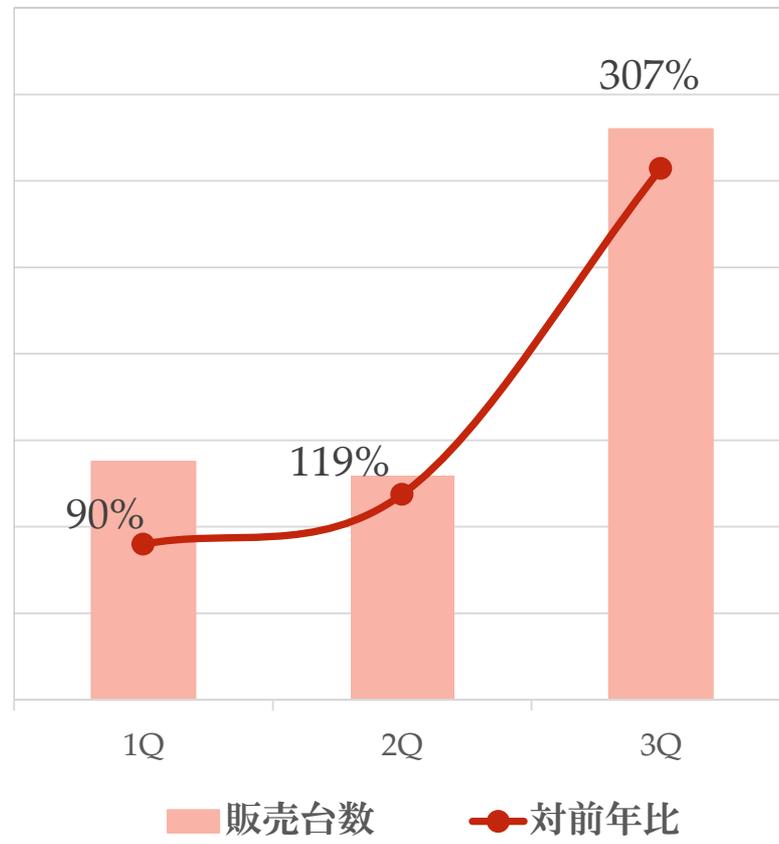
2020年第3四半期累計 国内事業 温水空調分野



給湯器付風呂釜の売価率推移

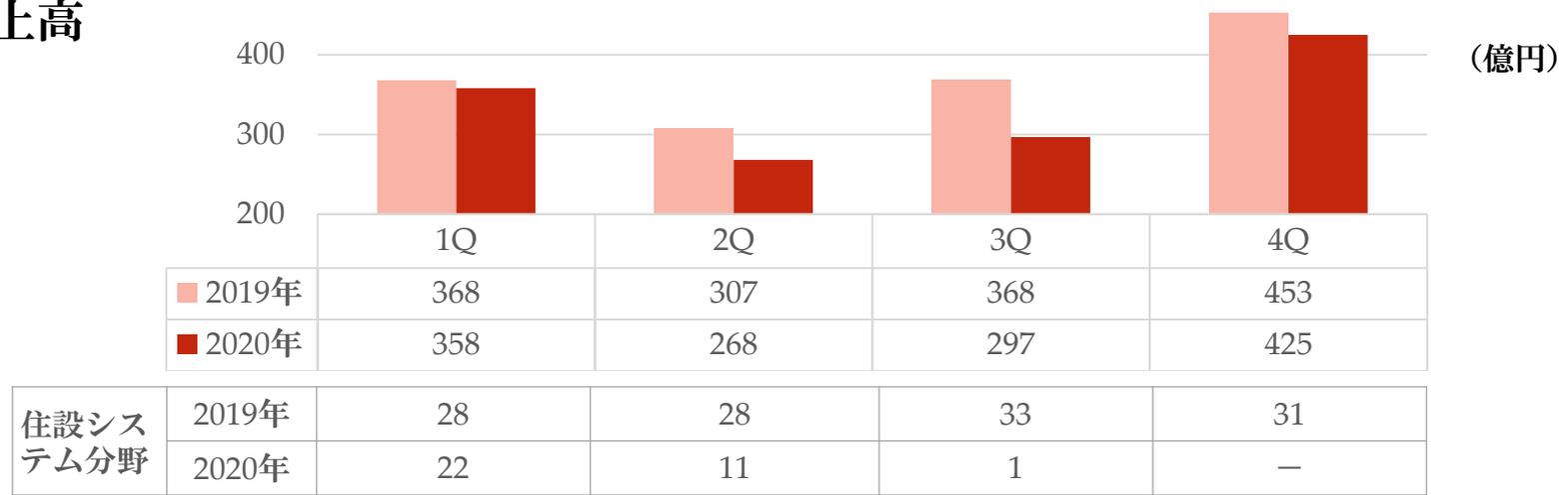


GT-C62 プレミアム販売台数推移

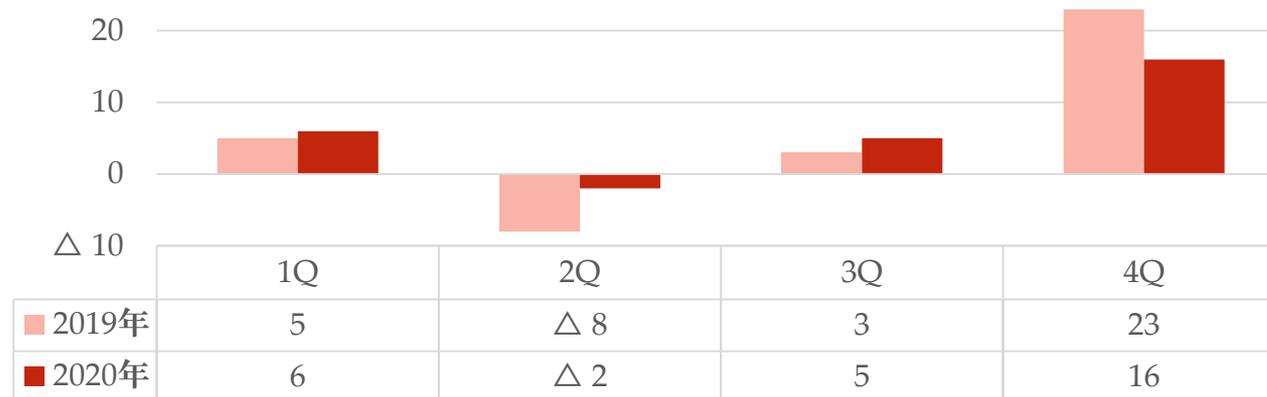


2020年12月期 国内事業 四半期別業績

売上高



営業利益

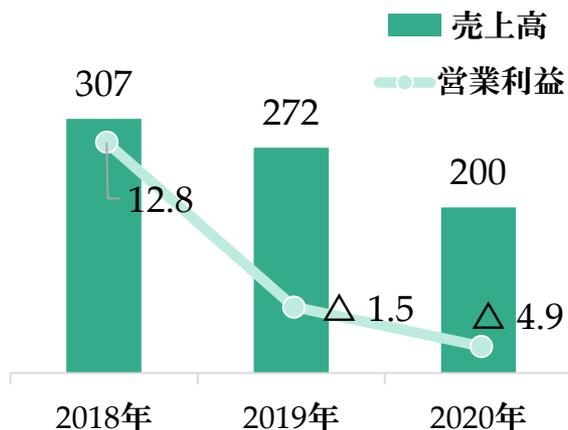


(2020年4Qは、通期予想から3Q累計実績を減じた値)

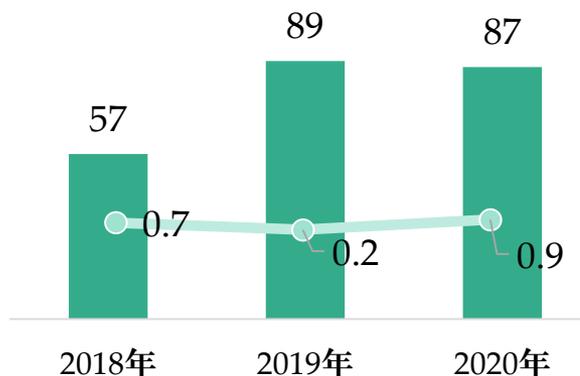
業績予想は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を合理的に見積ることが困難なため据え置いています

2020年第3四半期累計 海外事業 エリア別業績

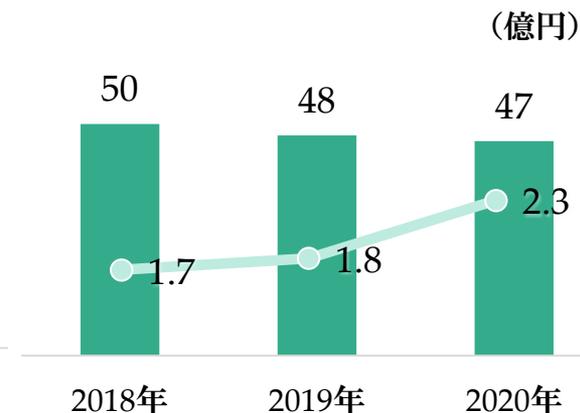
◇ 中国エリア



◇ 北米エリア



◇ 豪州エリア



市場環境

- 住宅設備機器の需要は回復基調が継続
- ネット販売拡大や都市部から周辺部への需要の広がりにより、普及品シフトが継続

取組み

- 構造改革の継続
- ネット販売の強化
- グループ向け輸出拡大

- コロナ禍ながらも、経済は2Qから好転
- タンクレス需要は、高効率タイプを中心に好調キープ
- ボイラー需要は低調

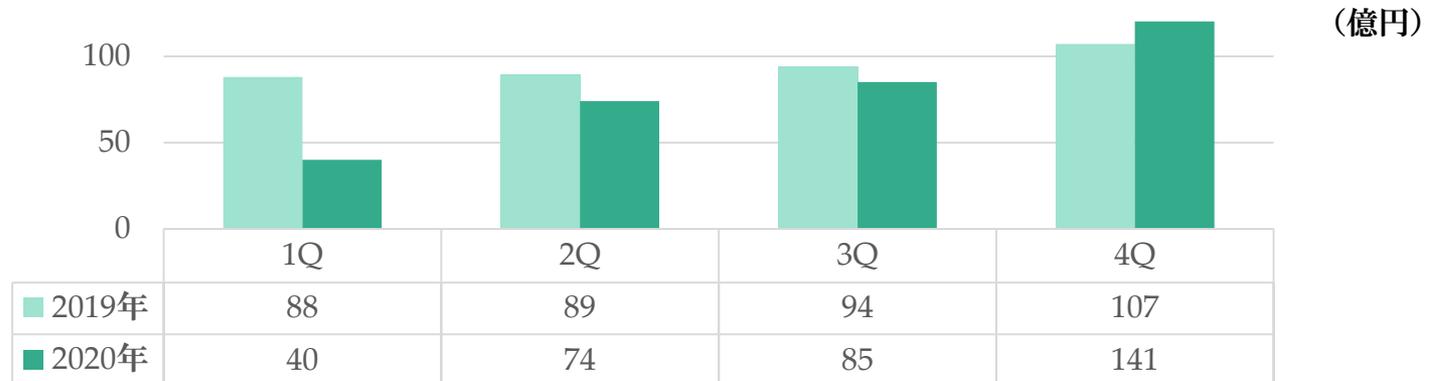
- 新商品販促強化
- Webトレーニング実施
- グループ間営業連携

- コロナ第2波によるロックダウンが経済に影響するも取替需要は安定
- 新築現場および業務用市場は3Q後半から回復の兆し

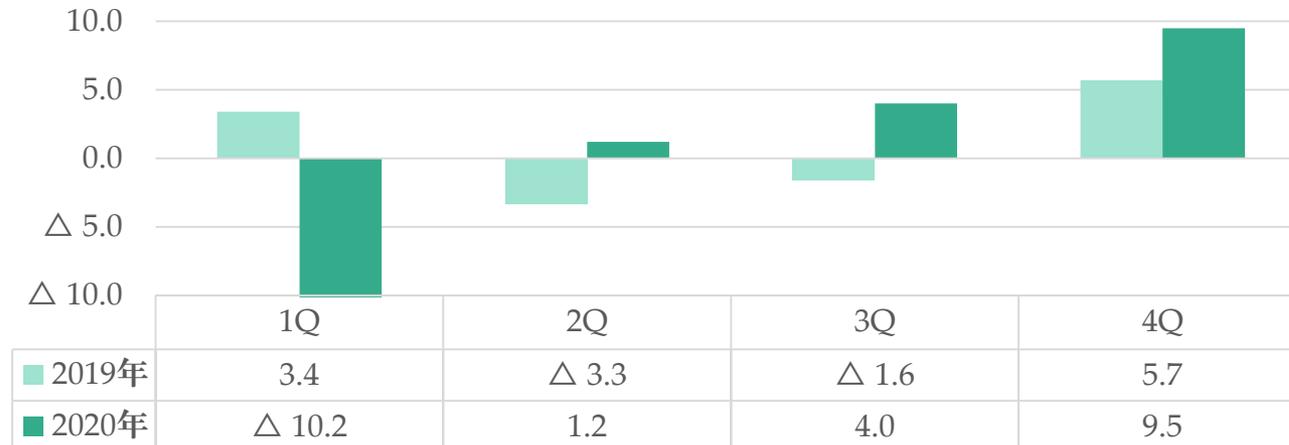
- 代理店協業の継続
- 新商品の投入
- 生産工程の改善実施

2020年12月期 海外事業 中国エリア四半期別業績

売上高



営業利益

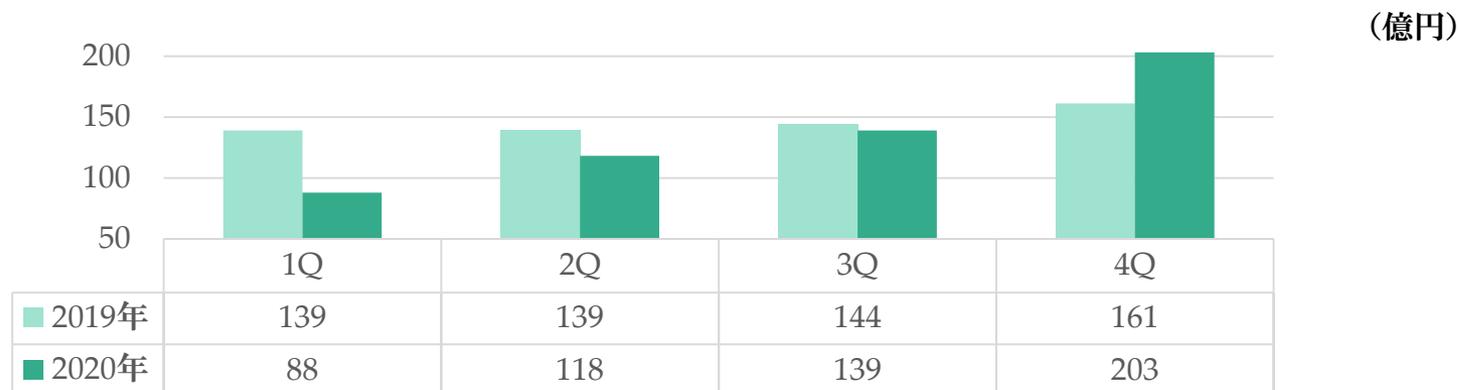


(2020年4Qは、通期予想から3Q累計実績を減じた値)

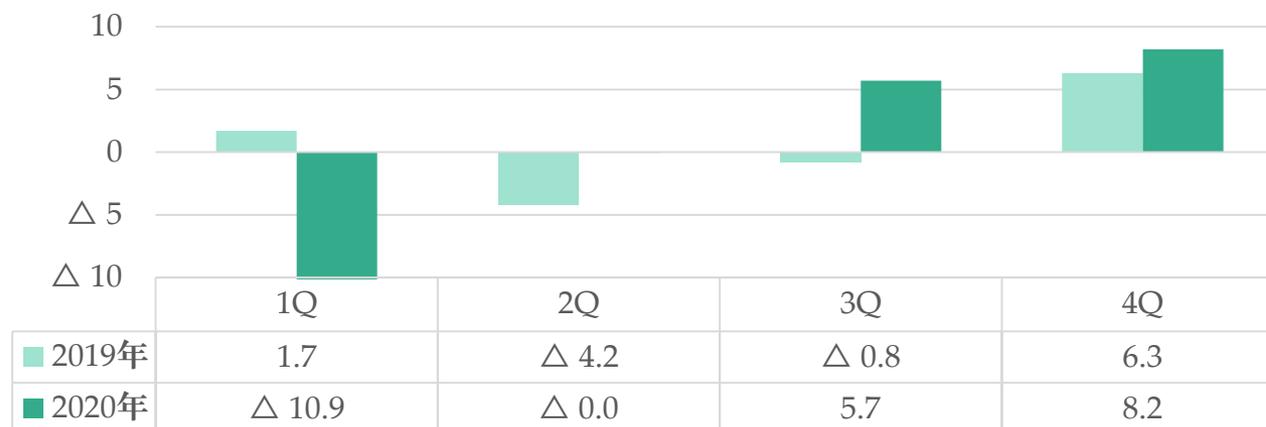
業績予想は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を合理的に見積ることが困難なため据え置いています

2020年12月期 海外事業 四半期別業績

売上高



営業利益



(2020年4Qは、通期予想から3Q累計実績を減じた値)

業績予想は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を合理的に見積ることが困難なため据え置いています

2020年12月期 通期業績予想

(単位：億円)	2018年12月期 通期実績	2019年12月期 通期実績	2020年12月期 通期予想	前年増減
売上高	2,098	2,083	1,900	△183
国内事業	1,510 (59)	1,498 (64)	1,350 (68)	△148
海外事業	588 (33)	585 (31)	550 (34)	△35
営業利益	48	26	28	1
国内事業	26	23	25	1
海外事業	22	2	3	0
経常利益	62	34	36	1
親会社株主に帰属する 当期純利益	57	15	△46	△61

※数値は外部取引額、()内は内部取引額

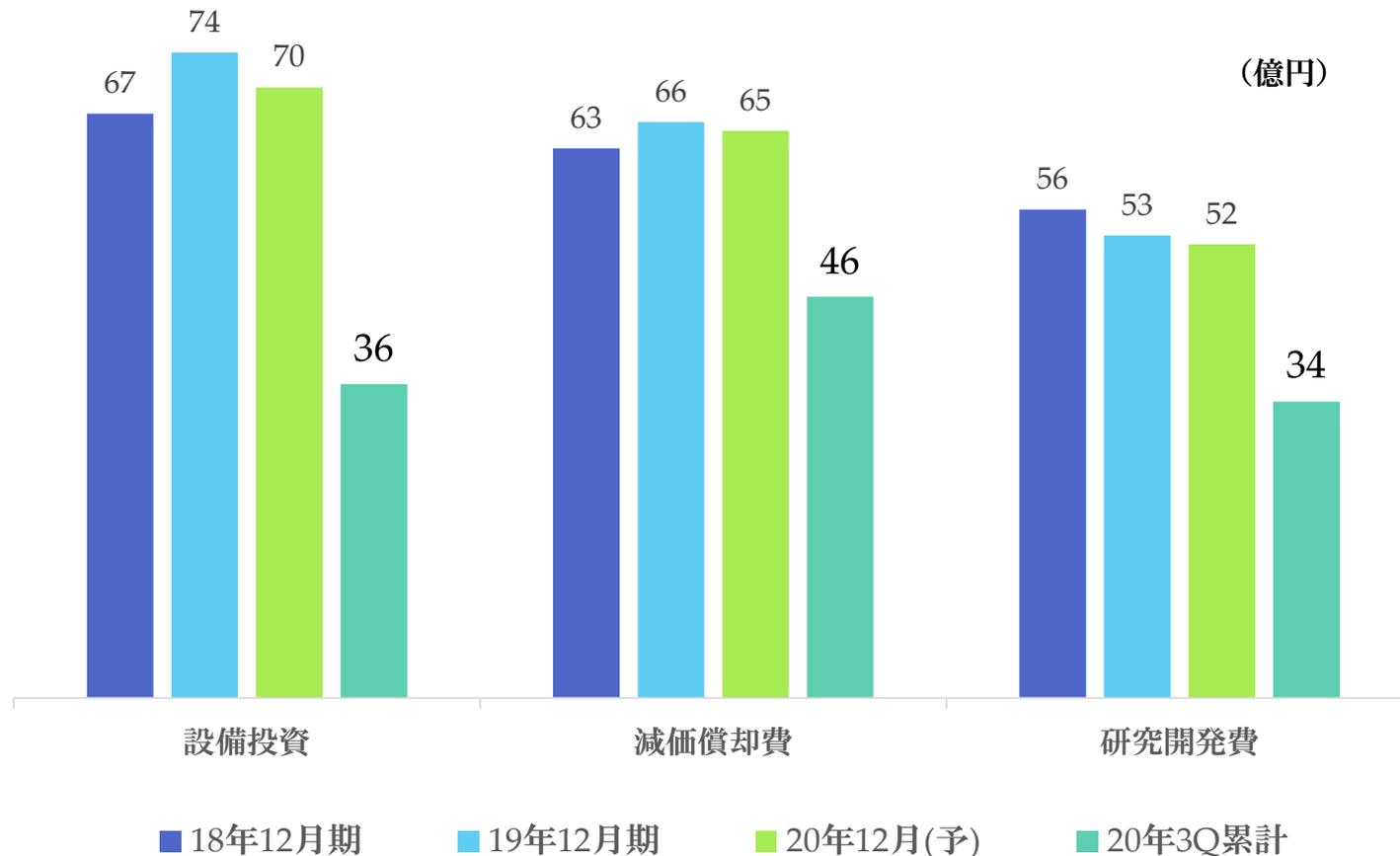
業績予想は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を合理的に見積ることが困難なため据え置いています

株主還元方針

- 2018～2020年度の基本方針
自己株式取得を含めた連結ベースの総還元性向50%を目途とする

年度	内容	株主還元
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 自己株式取得を含めた連結ベースの総還元性向50%を目途とする 	<ul style="list-style-type: none"> 配当：約15億円 自己株式取得：約13億円（2019年に約10億円取得。残額約3億円をキャリーオーバーし、2020年に取得済）
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 自己株式取得を含めた連結ベースの総還元性向50%を目途とする 但し、期初に公表した親会社株主に帰属する当期純利益38億円の50%を下限とする 	<ul style="list-style-type: none"> 配当：約15億円 自己株式取得：約4億円（2020年に取得済）
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 自己株式取得を含めた連結ベースの総還元性向50%を目途とする 但し、年間配当金1株当たり32円を下限とする 	<ul style="list-style-type: none"> 配当：約15億円 自己株式取得18億円（1～9月実績）

2020年12月期 設備投資・減価償却費・研究開発費



※減価償却費はのれん、商標権、顧客関連資産の償却費除く

社会課題の解決のために



Q(品質) 経年機器の点検による安全安心。
ダウンタイムゼロ化によるサービス品質向上

E(環境) ハイブリッド機器ならびにエコジョーズなど高効率機器による環境負荷低減



S(社会) 見まもり機能による浴室事故の低減。
マルチグリル、おそうじ浴槽等でのラク家事提案
IoT対応機器による利便性向上



2019年CDP気候変動評価「B」取得

CDP評価とは、気候変動に対する戦略、CO2排出量削減等の情報開示について世界で最も注目されている評価



2020
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度



ノーリツが大切にしている「見えない資産」